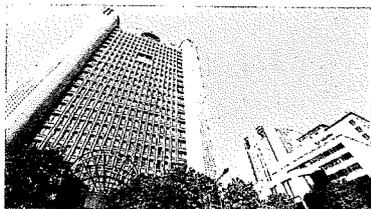


最新版「就職に力を入れている大学」ランキング

高校教師が評価、量から質を重視する傾向に

注記: 大学通信 情報調査部長 篠原フミ子 2019/03/08 4:50  
 シェア 2226 シート (印刷) 0 コメント (3) 印刷 (4) 図



「就職に力を入れている大学」ランキングは、昨年同様で順位がトップになったのは、早稲田大学。

新卒採用市場では、企業の苦戦が続いている。その状況は、リクルートキャリアの就職めらい研究所が先日発表した「就職白書2019」からもわかる。同白書によると、2019年卒の学生を対象とした企業の採用活動で、採用数が「計画よりかなり少ない」「計画より若干少ない」「現在選考中につき、未定」を合計した「採用数未充足」の合計は前年並みの51.5%。半減以上の企業が、思うように採用ができていないのだ。

一方、大学生にとっては「売り手市場」となり、実際の就職状況も好転した。文科省の「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」によると、今年の3月に卒業予定の大学生の就職内定率は2018年12月時点で87.9%、前年同期比で1.9ポイント上回っている。最終的な就職率は、1997年の調査開始以来の最高を記録しそうな情勢だ。

大学生の売り手市場は、この3月に本格的にスタートした2020年卒の就職においても続く。「就職白書2019」が2020年卒の学生の採用計画について企業に調査したところ、採用数が「増えると思う」が13.9%、「変わらないと思う」が45.8%という結果に、この合計は「減ると思う」を大きく上回っている。採用数が減らないのなら、大学生の売り手市場が続くのは確実だ。

大学の就職力は「質」が重視されてきている

大学生の売り手市場が狭くからといって、就職力が大学選びの重要な要素であることには変わりはない。ただ、大学生の好ましい就職環境を背景として、大学に求める就職力は、就職率という「量」から、どこに就職するかという「質」にシフトしている。つまり、滋陽指導教諭から「就職に力を入れている大学」として評価されるには、就職率だけでなく、大企業への就職力の高さもポイントになっている。

滋陽指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキングの上位の大学は、いずれもそうした期待に応えているといえる。このランキングは、大学通信が約2000の進学校の滋陽指導教諭にアンケートを行い、約800校から得た回答を集計した結果だ。5校選定で記載してもらった大学に対し、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント、以下順に3ポイント、2ポイント、1ポイントと割り当てて集計し、ポイントの多い順に並べた。

1位は9年連続で明治大学となった。2018年春の就職者数上位企業には、みずほフィナンシャルグループ（63人）や、三井住友海上火災保険（44人）など、金融大手企業が並ぶ。

トップ5大学の就職者数上位企業を見ても、2位の金沢工業大学は、三菱電機（7人）、JR東日本（6人）、JR西日本（6人）。3位の立命館大学は、京都中央信用金庫（37人）、パナソニック（35人）、滋賀銀行（33人）。4位の法政大学は、みずほフィナンシャルグループ（47人）、三井住友銀行（35人）、三菱UFJ銀行（30人）。5位の九州工業大学はホンダ（17人）、三菱電機（15人）、日立製作所（12人）などとなっている。

トップ5の顔ぶれと順位は昨年と同じ。もともとこれらの大学は大企業に強いと認知されているため、順位も高止まりになっている。ただ、ランキング順位の变化に注目すると、高校教諭の評価軸が量から質に転じていることがわかる。

前年からランキング順位を大きく上げた大学に注目すると、早稲田大学が13位から6位にジャンプアップ。立教大学も15位から11位に上がった。そして慶應義塾大学も19位から13位になっており、難関大学の順位アップが目立つ。そしてとくに伸びが大きかったのは、49位から23位になった関西学院大学だ。

先の人生を見据えたキャリア支援への評価高まる

これらの大学はもともと大企業の就職に強い大学だが、高校教諭の意識の変化により再認識され、就職に力を入れているという評価が高まったのではない。

大企業に強い難関大学は、学生のポテンシャルが就職実績を押し上げているという見方もある。もちろん、その点も無視できないが、大学の支援体制にも注目したい。難関大学に共通する就職支援の特長は、目先の就職を実現する就職予備校的なものではなく、その先を見据えているということだ。

関西学院大学の場合、キャリア支援の柱の1つに「ライフデザイン・プログラム」を据えている。これは、人生観や職業観を養い、仕事を通じた社会貢献の意識を学生に醸成するものだ。

立教大学も就職は人生のマイルストーンと位置づけ、その先を見据えた支援を行っている。もちろん、合同企業説明会の開催やエントリーシートの書き方、面接対策などテクニカルな支援を行っているが、先々を見据えた支援が、就職に力を入れていると評価されていると思われる。

4ページまで続きます。

高い次元で、就職の「質」と「量」のバランスがとれている工科系大学も、順位を上げる傾向にある。福岡工業大学は前年の16位から9位に。大阪工業大学は19位から15位、芝浦工業大学が22位から16位にランクアップした。さらに、長岡技術科学大学も33位から25位に、高知工科大学も49位から27位に順位を上げている。

9位に入った福岡工業大学の取り組みを見ると、求人約6割が関東や関西の企業ということ considering、就活のための交通費や宿泊費を支給している。金沢工業大学も、首都圏や近畿圏の大企業の就職者が多いため、就活支援バスの運行を行い、就活生の便を図る。両校とも、面倒見のよさと、高い教育力の相乗効果によって就職力が数字になって表れている。それが就職に力を入れている大学として評価されているようだ。

ちなみに、これまで文系学部の人気が高く、理系学部の人気が低い、「文高理低」の学部志向が続いてきた。しかし、2019年の入試では、多くの工科系大学で志願者が増えている。AIの急激な発達で、事務職など文系職種が大きな影響を受けると見られる一方、AIやデータサイエンスといった、理系人材のニーズが高まるだろうとの期待感から、工科系大学の出願が増えている可能性がある。

### 女子大学の就職力も見直されてきている

堅実な就職支援を行う女子大の評価も上がっている。8年連続で卒業生が1000人以上の女子大の中で実就職率（就職者数÷《卒業生数-大学院進学者数》×100で算出）トップの昭和女子大学は、「就職に力を入れている大学ランキング」でも、19位と女子大の中でトップになっている。順位も前年の21位から2ランクアップした。教職員が一体となった就職支援が奏功し、2018年卒の就職者が多い企業は、みずほフィナンシャルグループ（34人）やトランスコスモス（15人）など、就職の質の向上も評価ポイントになったようだ。

ほかの女子大に注目すると、東京女子大学が前年の33位から25位に、日本女子大学が38位から32位に、津田塾大学が67位から41位に、白百合女子大学が89位から61位と、伝統ある女子大学の順位が上がっている。これらの大学の共通点は、教職員と卒業生が就職支援に積極的に関わる面倒見のよさにある。その結果、多くの卒業生が大企業に就職していることが、高校教諭に評価されたのだろう。

どの大学も就職率はかなり上がり、高い就職率が当たり前となる中、大学選びの重要項目である就職力で差別化を測る尺度は、冒頭で述べたとおり「質」だ。その傾向はしばらく続きそうで、「就職に力を入れている大学」として評価されるには、その質の向上が不可欠になる。

就職に力を入れている大学 (1~37位)

Table with 5 columns: Rank, University Name, Type, Location, and Score. Lists universities from rank 1 to 37.

→ 次ページ 就職に力を入れている大学42~72位

1 2 3 4 5 6

コメント (28)

Related article snippet: 「有名企業への就職率」が高い大学ランキング

自動車 STOREに行く 定期購読

Toyokeizai.comのツイート

ツイート@toyokeizai

新刊 ランキング GREAT BOSS(グレートボス) シリコンバレー式すげすげすげすげ

就職に力を入れている大学 (41~72位)

Table with 5 columns: Rank, University Name, Type, Location, and Score. Lists universities from rank 41 to 72.

→ 次ページ 就職に力を入れている大学83~90位

1 2 3 4 5 6

コメント (28)

関連記事

Toyokeizai.comのツイート

Tweets by Toyokeizai

新刊 ランキング GREAT BOSS(グレートボス) シリコンバレー式すげすげすげすげ



# 橋立の北前船主・西谷家

西谷家の第5次調査に臨む  
高野さん(左)と土屋さん  
＝加賀市橋立町



## 小樽で芸術家育成

加賀市橋立町の北前船主・西谷家から7日までに、北海道小樽市出身で日展参事、一水会運営委員を務めた洋画家中村善策氏の、珍しい肖像画2点が見つかった。1月には兵庫県玉塚市の5代西谷庄八のひ孫宅で、風景画家の中村氏の作品で唯一の橋立町を題材にした油彩画の存在も確認された。西谷家の資料を調べる小樽商科大学芸術研究員の高野宏康さん(44)らは西谷家が小樽の芸術家育成に貢献した証しとみている。

### 幼少期から中村善策氏支援 肖像画、橋立の風景画確認



宝塚市の佐野さん方で確認された中村氏の油彩画「泉浜潮吹」(高野さん提供)



中村氏が6代正治の妻貞子を描いた肖像画(高野さん提供)

中村善策 1901(明治34)年、北海道小樽市生まれ。日展参事、一水会運営委員などを務めた洋画家。68(昭和43)年の第11回日展出品作

「張碓のカムイコタン」で日本芸術院賞受賞。北海道や信州の景色を多く描いた。北海道美術協会名誉会員、大谷冠大美術科教授などを歴任。83(同58)年4月に死去。

### 加賀で第5次調査

1万点以上の資料が残る西谷家の調査は2017年11月から加賀市と橋立町、小樽商科大、全国北前船研究会、北海道北前船調査会が共同で進めている。橋立町出身の高野さんと北海道北前船調査会主宰の土屋周

三さん(70)が今月4日、橋立町の西谷家を訪れ、地元住民ボランティアの協力を受けて、第5次調査に取り組んだ。

ホールを備える小樽市立小樽美術館に寄贈された。高野さんによると、中村氏は少年の頃から6代正治に才能を認められ、物心にも支援を受けた。15歳で西谷回漕店に入社し、働きながら小樽洋画研究所に通った。結婚後の新居は5代庄八の厚意で西谷海運所有の空き家があてがわれた。上京を決意するまで半年間は正治から提供を受けた山荘で創作に没頭し、後に蟹

工船」などで知られるプロレタリア作家の小林多喜二と親交を深めた。「思い出の風景」宝塚市に住む5代庄八のひ孫、佐野禎子さん(76)方で確認された油彩画「泉浜潮吹」は、佐野さんの母明子さん(2017年1月死去)が1941(昭和16)年に結婚した際、中村氏が橋立町の海岸「泉の浜」を描いて贈ったとされる。佐

野さんは「幼い頃から母に連れられ、橋立へよく遊びに行った。思い出の多い風景が描かれた大好きな絵」と懐かしみ大切にしている。橋立町の墓地にある5代庄八夫妻の胸像は、高岡市出身で幼い頃に小樽へ移り住んだ彫刻家中野五一氏が手掛けており、高野さんは「小樽の経済発展を牽引した西谷家が文化振興にも貢献したことをうかがい知ることができると話した。



## 「書籍オタク」 催し仕掛け

最も大切な本は3冊買う。読む本。保存用。そして、人に薦めるなど「何かの時のため」の1冊。自称「書籍オタク」は、段ボール200箱分の本を抱えて家族を困らせたこともあるという。

大学で司書の資格を取って道の職員となったが、念願の道立図書館への配属は30代後半だった。定年まで勤めた後、かつての上司の誘いで市立小樽図書館長となって3年。総勢20人足らずのスタッフと力

■ 本と市民の接点づくりに奔走する市立小樽図書館長

鈴木 浩一 さん 66 (小樽市)

## 顔

を合わせて独自のイベントを連発している。

地元に住む絵本作家との雑談で「図書館で描くと仕事はかどる」と聞き、子どもがプロの作業を横で見ながら絵本づくりに挑戦する教室を開いた。「地域の人々に力を借してもらおう」という発想で、市内を積極的に歩いてはコラボの輪を広げている。

これまでに小樽商科大や、おたる水族館、第1管区海上保安本部、地元書店などと手を組み、「パン店」「灯台」「猫」などのテーマで展示を実現した。次々にイベントを仕掛けるのは「本がそれほど好きではない人との距離を縮めたいから」。もっと多くの市民に利用してもらおうため、「館で待つだけでなく、本も職員も外へ出て行かなければ」とも考えている。

四半世紀勤めた道立図書館では主に、市町村の図書館の支援を担当した。「『利用者を増やすには……』と後ろで応援していたのが、今は最前線で頑張るしかありません」

と楽しそうだ。

(村尾潤)



大河小説のようなこの歴史漫画は、関ヶ原の戦いから始まり、幕末、明治維新へと今も進行中です。

なぜこんな出来事が起き、歴史はなぜこう動いたのか。ギャグ漫画の形を取りながら、作者は無名の人々の生き方に焦点を当て、「みなもと史観」とも呼ぶべき下からの視点で時代を生き生きと描いています。歴史の教科書ではピンと来ない江戸時代のイメージが、これを読んで初めてつかめた気がしました。

掲載誌を変えながら40年続くシリーズ。小樽図書館にも、ワイド版全20巻がそろっています。

V 私の1冊 みなもと太郎著「風雲児たち」

岩見沢から2時間の通勤中、スマートフォンも活用しながら日本・世界の文学全集の読破に挑戦する。砂川市出身。